

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	4	4	

前回の改善計画

新規オリエンテーションチェックシートを活用し本人家族へ配慮を持って対応する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・初回面接時はケアマネ、主任で対応し、必要な情報やニーズ把握が行えている。担当の介護職員が決まるのは後日になるが、面接に伺った職員が初日は対応することで不安ならないような配慮は行えた。
- ・新規利用者向けのオリエンテーションチェックシートを作成し、一日の流れの説明や利用者の不安ごとへの聴き取りは概ね行えているが、特定の職員に偏っている

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	6	1	
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	5	2	
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2	6	1	
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	6	2	

できている点

- ①本人情報は事前のミーティングなどで共有できている。(8名)
- ②ケアマネの聴き取りを基にご家族の希望や本人に合った支援が行えるように日課に取り入れている
- ③新規の方などは職員の顔を覚えて貰うように努めている。
環境に馴染んでおられない利用者への気遣いも出来ている。
言葉遣いや声のトーンに気を付けてコミュニケーションを図るようにしている。

できていない点

- ②利用者個々に見合った支援が少し不足していると思う。
- ③声掛けや配慮が難しい時がある。
- ④家族との関係作りは特定の職員に偏っている。(3名)
担当者会議参加の際は行えるが、日頃からは出来ない。

次回までの具体的な改善計画

新規利用者に対してのオリエンテーションについて全職員へ周知し、担当する職員（項目によっては複数の職員が携わる）が事業所を利用する上での不安や思いを尊重しながら関わられるようにする。
職員が家族と顔を合わせる機会を増やす。または連絡帳を通じて家族との深いコミュニケーションを図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月15日
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？		3	5	1
前回の改善計画		・ライフサポートプランを基本に「～したい」を目標設定しチームで支援する。 ・目標をいつでも確認できるように一覧化を継続し見聞録で発信し、職員間で情報共有する習慣をつける。			
前回の改善計画に対する取組み結果		「～したい」が一覧化出来ていない（2名） 職員の理解不足によりその日の暮らしの支援になっている。 支援の根拠が本人の目標に対する支援と合致している。 通い支援では思いを基にスタンプカードを活用して動機づけしている。 自分の担当利用者は把握できている。 利用者によって定期的にカンファレンスが開催されておらず現状把握や課題分析が共有できていない。			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		6	3	
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		6	3	
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		3	6	
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		6	3	
できている点		① ②カンファレンスやプランをもとに行えている（5名） ③ 目標に対する支援は行えている ④ ミーティングで内容の振り返りは出来ていたと思う（2名）			
できていない点		①②③自分の担当以外の利用者の目標は把握できていない。（3名） ・日々の業務に追われアセスメントや評価が滞っている現状がある（2名） ④ミーティング等で話し合いは出来ているが振り返りや次の対応については不十分なところがある ・支援の振り返りが、健康管理が主となっている場合もある。			
次回までの具体的な改善計画		・ライフサポートプランを活用して個々の生活に対する意向やこだわりなど「～したい」を見える化し、チームで支援する。			

3. 日常生活の支援

メンバー

9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	3	4	1

前回の改善計画

ライフサポートプランを基本に以前の暮らし（どの時期が最適なのかも含む）や本人の思いを共有しながら適切な支援を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

「通い」が主の方に対しては普段自宅の環境が見えにくい又は見ていないので深く把握できていない
一人の利用者にかかる時間がどうしても短くなってしまう
本人家族へ聞き取りが出来ていない
業務に追われライフサポートプランに目を通す時間があまりない

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2	6	1
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	5	1	
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	6	2	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	5	1	
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	5	1	

できている点

- ① カンファレンスで挙げた方に対しては把握できている
- ② 利用者個々に見合った介護は出来ている（5名）
- ③ 感情失禁のある方の声については共感する姿勢で寄り添う事で言語化して共有している
- ④ 利用者の日々の状態を観察し小さな変化にも気づくこと、その情報も共有出来ている（4名）
- ⑤ 体調変化など複数のスタッフで共有できており都度対応が出来ている

できていない点

- ①以前の暮らしはポイントのみでしか把握できていない（6名）
- ⑤ 本人の声にならない声を言語化するには至っていない

次回までの具体的な改善計画

- ・ライフサポートプランを基本に本人の思いを共有しながら個々の「あるべき日常生活」の支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 15日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	9名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	事業所の支援により地域との関係性が続けられるように、基本情報や軒下マップ（エコマップ）を活用して今までの関係性を理解し、個々の生活を大切にしたい支援を考えられるようになる。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネ中心に軒下マップを活用してカンファレンスで共有できている 情報はあるが関わりがあまり出来ていない 独居の方に対しては見えない事が多い

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	2	2	5	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	6	2	
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうように支援していますか？	3	4	2	
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	4	4	
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	2	5	

できている点	①④ 出来ている方もいるが難しい方もいる（3名） ② 送迎や訪問支援を通じて関係が途切れない支援が出来ている（3名）
--------	--

できていない点	③、把握が難しい方が多い（3名） ⑤ 地域資源はあまり把握できていない。（4名） ・ 特に新規の方に対しては情報が不足している
---------	--

次回までの具体的な改善計画	事業所の支援により地域との関係性が続けられるように、基本情報や軒下マップ（エコマップ）を活用して今までの関係性を理解し、個々の生活を大切にしたい支援を考えられるようになる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月15日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		5	4	
前回の改善計画	- 地域の資源とは何かを改めて理解を深め、事業所だけの視点にならない様に視野を広げる - 利用者家族のニーズ、変化などに応じて柔軟に対応できるように体制を整える			
前回の改善計画に対する取組み結果	- 地域の資源とは何か、またどうそれを活用するかを学ぶ機会が無い（4名） - べんり帳の活用があまり出来ていない印象がある			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		6	3	
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	5	1	
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	5	1	
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	6		

できている点	①訪問体制を充実させたことで地域へ出向く機会が増え、地域資源を活用した支援が行えている。（2名） 訪問看護との連携や配食サービスと支援について協力することで多方面から支えられている。 べんり帳などを活用して調べている ②家族と共に支援が出来るように情報共有している方もいる ③利用者がいつもと比べ違和感があるなどの変化は共有できている（3名） ④求められるニーズに応じて適切な支援を考え実行できている（4名）
--------	---

できていない点	①地域の資源への理解、事業所が主体になると視野が狭くなりがちになる 地域資源の活用が少なく事業所で何とかしようとしている部分が多いように感じる 地域資源の把握が出来ていない（2名） ②利用者のサービス頻度については事業所側の都合になる部分もある。本人家族の聴き取りが不十分。事業所がどの程度対応できるかが明確でないので職員が適切に対応できないことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	- 地域の資源とは何かを改めて理解を深め、事業所だけでの視点にならないように視野を拡げる。 （勉強会、便利帳の活用、軒下マップへの連動） - 利用者家族のニーズ、変化等に応じて柔軟に対応できるように体制を整える。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月15日
6. 連携・協働	メンバー	9名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	2	1	3	3
前回の改善計画					
地域包括ケアの役割を担う自覚や意識が増える (行政やサービス関係者との会議や波根地域の行事などに参加する機会が増える)					
前回の改善計画に対する取組み結果					
・事業所で課題を抱え込むのではなく、地域ケア会議へ担当する事例を提出し、地域課題について行政や医療関係者（病院、薬局、歯科衛生士）、介護サービス事業者などと検討を行う機会を持った。 ・ケースを通じて地元のまちづくりセンターでの活動に参加する協力が得られた。 ・事業所としては小学生児童の下校時の見守り、波根文化祭への作品展示の参加を行った。					

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	4	1	1
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	3	3
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	3	2
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1		2	6

できている点	
①ケアマネが参加している（2名） ②ケアマネや上司が参加している（3名） ③文化祭やまちづくりセンターの活動には参加している。（2名）	

できていない点	
②日程調整が難しい。会議等を把握できていない ③シフトの関係もあり自治会や近い所での地域交流は参加できていない（名2） ⑥ 子供や地域の方は目的が無いと来ないと思う。 面会以外は地域住民の来所が無い（3名）	

次回までの具体的な改善計画	
地域包括ケアの役割を担う活動機会を増やす。 （地域ケア会議参加、波根地域のボランティア活動、行事などに参加する機会が増える）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月15日
7. 運営	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	4	2	2
前回の改善計画		利用者家族や地域に求められているニーズを把握し運営に反映することが出来る。 (運営推進会議、ボランティアなどの活動、ご意見箱やアンケート調査などを通じてニーズ把握する)			
前回の改善計画に対する取組み結果		運営推進会議での議題に計上し運営や地域ニーズ把握について検討機会を設けた。少しずつ委員の方から意見を頂ける会議運営となりつつある。特に、災害対応については平時から意見交換を行い有事の協力が行えるようにしていきたい。			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		3	3	3
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	6	1	
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5	1	3
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2	2	4	1

できている点	①意見があれば上司に伝えている ②利用者家族の意見は真摯に受け止めフィードバックされ改善に繋がっている。(7名) ④波根地区のボランティアや見守り隊などは行っている(2名)
--------	---

できていない点	①職員として意見が言えていない 特に何かを言う事もない(存在意義について話し合う場が無い) 取り組みをしているかもしれないが存在意義についてわかっていない。 ②地域の方からの苦情はあまり把握できていない。(3名) ④地域と積極的に共働した取り組みと言う点では不足していると思う。触れ合いの場も少ない。(3名) 多忙な中で人員を割くのは難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	利用者家族や地域の方から求められているニーズを把握し運営に反映することが出来る。 (利用者家族から意見や要望、苦情などを吸い上げる取り組み、運営推進会議での課題検討・協力等)
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月15日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	4	1	1
前回の改善計画		事業所のサービスの質が向上するように、より多くの職員が研修に参加してスキルアップを図る。(内部外部の研修計画の作成と実施)			
前回の改善計画に対する取組み結果		職員の資質向上を図ることで事業所のサービスの質の底上げが出来るようにほぼ内部外部の研修を年間計画に沿って実施した。職員のレベルに応じた研修を継続する。			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	5	2	
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	2	2
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	3	3
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6		2

できている点	①職員全員が参加できるように取り組んでいる。(3名) 研修案内が提示されたり促がされたりして参加している。(4名) 参加可能なものに対しては希望もする。 ②自身のスキルアップの為の研修には積極的に参加できている。 ④リスクマネジメントの取り組みも行えている。
--------	--

できていない点	②資格取得やスキルアップ研修へは参加していない。 ③連絡会に参加したことはなく参加している事もしらない (3名) ④リスクマネジメントに取り組むが不十分な時もある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	事業所のサービスの質が向上するように、より多くの職員が研修に参加してスキルアップを図る。(内部外部の研修計画の作成と実施)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 12月 15日
9. 人権・プライバシー	メンバー	9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	2	6	1	
前回の改善計画	人権を尊重した支援やプライバシーの配慮が環境整備を含めて意識を持って取り組む。 (コンプライアンス順守や身体拘束廃止、虐待防止など基礎知識を備えるための勉強会の実施)			
前回の改善計画に対する取組み結果	研修を通じて権利擁護の理解を深め、身体拘束や虐待などの事例はなかった。日々の支援の中でプライバシーへの配慮が無自覚になされていない現状や制度理解が乏しい状況も有る為、継続した課題として取り組む。			

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 身体拘束をしていない	6	3		
② 虐待は行われていない	6	3		
③ プライバシーが守られている	5	6		
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	2	2
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	2	5	2	

できている点	①②身体拘束や虐待については研修を受けしっかりと対応が行えている。(5名) ③プライバシーについては環境設定も含めて出来ている。また随時改善もしている。
--------	---

できていない点	③排泄の案内時に難聴の方に対しては、他の方の前でも「トイレに行きましょう」とつい言うってしまう事がある。 ④成年後見制度を理解できていない(3名) ⑤情報が目の付く所に置いてあることが有る。(2名)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・個々の望む生活支援を行う上で、権利擁護の理解を一層深めるための研修参加(身体拘束廃止、虐待防止、成年後見制度等)を継続する。 ・無意識にプライバシーを侵害しないように環境を整備する(ミーティングの在り方、記録物の整備など)
---------------	---